

すべての立場を知り、公正に報道する！



新聞記者は、客観的な視点をもって公平・公正に報道することが最も大切だと思っています。その中で、取材の際に読者の立場から見る心がけを常にもち、自分が疑問に思うことをきちんと聞くことが必要です。

東京の再開発の記事を書いた直後に、読者の方から手紙が届きました。怒っているのではなく、「一方的に再開発について伝えるだけではなく、問題点についてもちゃんと話を聞きに来てほしい。」というものでした。記事にしてほしいというのではなく、声は聞くべきだというお話だったのです。

メディアって、立場や主張の強い方の話を取り上げがちだと言われることもあります。行政・企業・地域など、いろいろな立場の人の声を取材しなければいけないなと思いました。

